

佐藤とどめの3ラン

江陵 帯農破り北大会進出



【Bブロック代表決定戦・江陵―帯農】7回2死二、三塁から左越え本塁打を放ち喜ぶ江陵の佐藤慶吾（中央）

2点を追う江陵は四回、酒井の右前打、工藤の四球、平井の中前打で無死満塁とし、中村の右前適時打と舌谷の左翼線適時二塁打などで4点を挙げて逆転。その裏、追い付かれたが、五回に高橋の左翼への2点適時二塁打などでリード。七回に

必ず甲子園へ



江陵・古谷優人主将の話
先はまだまだ長い。チームは勢いがあるので、緊張感を持って臨み、この流れをつなげ北大会でも發揮し、必ず甲子園に行き、谷本監督をまた泣かせたい。

挑戦者の気持ちで



江陵・谷本献悟監督の話
次のステージでは挑戦者の気持ちでそれぞれ一戦一戦、自分のやるべきことを信じ、十勝の代表として胸を張って臨みたい。

走者4人しか出塁できず、抑え込まれた。

つながる打線 弱点を一扫

○：「試合に勝った以上に人としての成長も見られた決勝戦になったことが一番うれしい」。2年ぶりの北北海道大会進出を決めた江陵の谷本献悟監督はエース古谷優人主将と抱き合っ

て喜んだ。

「打撃が弱い」「古谷のワンマンチーム」。そうささやかれる江陵の弱点を一扫するような試合内容となり、「古谷だけのチームでないことを証明できた」と谷本監督は目頭を熱く拭いた。

制球の乱れが目立った古谷は「始めからストリートが良くなかったので、打た

せて取るしかないと思っ」と振り返り、堅い守備陣と打線のつながりを見せたメンバーに感謝した。

スタンドから観戦していたプロ球団・北海道日本ハムファイターズの白井康勝スカウトは「きょうは制球が定まらず不調だった。それでも146キを連発していた」と速球の魅力を改めて口にしていった。

◇Bブロック▽代表決定戦

(2日)

江陵	1004304	12
帯農	0032000	5

(七回コールド)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
右安	二直	左2	右安	四球		
二安	三直	遊直	投犠	三振		
左安	三直	三安	三邪	左本		
二失	右安	三飛	四球	三振		
二直	四球	三振	四球			
二直	中安	左安	三邪			
四球	右安	右安	三振			
投犠	一ゴ	左2	四球			
中飛	投ゴ	三振	右安			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
右飛	投飛	四球	三直			
中安	中安	三振	二直			
二直	右安	投失	四球			
四球	右安	三直	三振			
三振	中3	三振	三直			
三振	投直	四球	遊直			
三振	四球	投直	四球			
遊直	四球	四球	遊直			
一直接	投犠	遊ゴ				

江陵	打数	安打	三振	四振	打点	残打
古谷	4	3	2	0	1	
国方	4	1	0	1	0	
佐藤	5	3	3	0	0	
酒井	4	1	0	1	1	
工藤	2	0	0	1	2	
平井	4	2	0	0	0	
中村	3	2	2	1	1	
高橋	2	1	3	0	1	
大井	4	1	0	1	0	
犠盗併残失	22	07	1			

帯農	打数	安打	三振	四振	打点	残打
角井	3	0	0	0	1	
大久保	4	2	0	1	0	
9竹澤	3	1	0	0	1	
白木	3	1	1	1	1	
松浦	4	1	2	2	0	
府川	3	0	0	1	1	
1中村	2	0	0	1	2	
武藤	2	0	0	0	2	
若林	2	0	0	0	0	